

# 松枯れ防止用樹幹注入剤

酒石酸モランテル液剤

## グリーンガード®・エイト

有効成分：酒石酸モランテル……………8.0%

農林水産省登録 第16441号

(ソエティス・ジャパン(株)登録)

性状：淡黄色澄明水溶性液体

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

有効年限：5年

包装：220ml×50

グリーンガード®は、ソエティス・ジャパン(株)の登録商標です。

### 特長

- 水によく溶けるので、樹体への吸収、各部への分散が優れ、常に高い防除効果を発揮します。
- 樹体内の安定性に優れているため、高い防除効果を長期間維持できます。
- 原体、製品ともに『普通物』なので、人体にも環境にも安全です。
- 通常の使用では魚介類に影響を与えないので、安心してご使用頂けます。

### 適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	酒石酸モランテルを含む農薬の総使用回数
まつ(生立木)	マツノザイセンチュウ	胸高直径(樹幹部) 6~10cm110ml 10~15cm220ml 15~20cm330ml 20~25cm440~660ml 25~30cm660~880ml 30~35cm880~1100ml 35~40cm1100~1320ml 40cm以上は直径5cm増すごとに110~330mlを順次増量。	マツノマダラカミキリ成虫発生3か月前まで	1回	樹幹注入	1回

### 使用方法

- 注入孔は大きな節の直下を避け、直径6.5mmのドリル刃で地上1m位の幹に斜め下方に深さ4~9cmあけてください。
- 薬液が形成層に触れないように注意してください。
- ノズルキャップを着け、薬液が漏れないよう注入孔に押し込み、容器の底凹部に小孔をあけ注入してください。
- 一樹に複数使用する場合は、幹の周囲に分散してください。
- 注入時間は3~6時間です。(早い時は1時間、遅い時は48時間)
- 注入後の孔は必ずふさいでください。

### 使用上の注意事項

- 本剤はマツノマダラカミキリ成虫によって伝播されるマツノザイセンチュウの侵入、増殖防止を目的とするもので、マツノマダラカミキリには効果がありません。
- 薬液が樹全体に移行するのに、若木・樹勢旺盛な木では1ヶ月、大木や樹勢の弱い木などでは2~3ヶ月、胸高直径50cm以上の巨大な松では6ヶ月位を要します。
- 本剤注入後のマツノザイセンチュウに対する効果の持続期間は通常6年ですが、樹種、樹齡、樹勢、生育場所、気象などの各種条件によって変動するので、再注入時期については林業関係機関、林業技術者などの指導を受けられることをお勧めします。
- 樹脂流出に異常のある松や、葉が変色した松には使用しないで下さい。
- 注入作業は晴天日に、寒冷地ではできるだけ暖かい日に行ってください。
- 注入後の容器は速やかに回収し、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。
- 注入中は縄囲いなどで作業員以外の者がふれないように注意してください(公園、街路樹などでは手の届かない位置に注入し、空容器は早めに回収してください)。
- 注入量は樹幹の胸高直径の大きさによって増減してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意し、林業技術者の指導を受けてください。

- 庭園松などは見かけ上、胸高直径に比べ材積量が少ないことから、樹体内の薬剤濃度が高くなり、一部の針葉の黄化を招くおそれがあるので、通常の薬量の半量を目安に注入してください。また、樹勢の衰えている松や矯正された松などは、樹の材積量を勘案して使用してください。
- 一般に庭園松などの造形木は樹勢が衰えていることが多いため施工はお奨めできません。しかし、施工可能と判断されるものについては、施主や所有者の同意に基づき諸注意事項を守り、慎重に対処して下さい。

## 安全使用上の注意事項

- 作業中容器の破損を防ぐため取扱いは特に慎重に行ってください。作業中は手袋などをつけて注入液が体に付かぬよう注意し、作業後は、顔・手足など石けんで洗ってください。使用中身体に異常を感じた場合には安静にして直ちに医師の手当てを受けてください。
- 目に対して刺激性がありますので、目に入った時は直ちに洗眼し医師の手当てを受けてください。
- 万一誤飲の際は、多量の水を飲ませるなどして胃の中のを吐き出させ、安静にして直ちに医師の手当てを受けてください。
- 子供等が作業現場に近づかないように配慮し危険防止のための措置を講じてください。
- 直射日光を避け、食品と区別し、なるべく低温の場所に密栓して保管してください。
- 本剤の使用に当たっては、必ずラベルをよくお読みください。また使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けていただくよう、お願い申し上げます。